

- ・コラム「ウソついたらあかん」
- ・お知らせ(新年会報告、香川の大学生見学、新スタッフ加入)
- ・太陽と緑の会からの助成報告
- ・協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

175号/2017

Since 1984

「ウソついたらあかん」

杉浦 良

「Aさんは焼鳥屋で研修も終わって、週4日仕事をしているって言ってたけど・・・」とBさんが羨ましがっています。

「Cさんのお父さんが車にはねられた?と行ってたけど・・・」Dさんがおろおろしながら、心配しています。

「Eさんが朝3時に起きて、アルバイトしてきたから今日は疲れた!と行ってたけど・・・」Fさんが気遣いしています。

「Gさんが15歳も年上の人と付き合っていて、子供までいるって言うけど・・・」Hさんは目を白黒させています。



太陽と緑の会への進入路にある手作り竹柵のペンキ塗り。月の宮作業所で腕を磨いたメンバーAさんがスタッフ松村と2人で仕上げてくださいました。

(竹柵は月の宮作業所に自生している竹で作ったオリジナルで、交換作業も大変です。ペンキを塗ることとで寿命が延びます)

「Iさんは札幌から鹿児島まで、彼女が5人いるってホント？」Jさんは疑心暗鬼です。

「Kさんはいろんなところで仕事をしたことがあって、このくらいの仕事はちょちょいのちょい！と自慢していたけど、ホンマか？」Lさんは疑っています。

「昨日Mさんが、エラそうに威張ってた人を、ボコボコにしたと言ってたけど大丈夫？」Nさんは不安な表情です。

メンバー達の会話の中に、色々なストーリーが紛れ込んでいます。真偽のほどは不明です。当事者の言っている言葉だからちゃんと真面目に聞いて、対処しなければいけない、などと杓子定規な考えを持っていると、痛い目に合うことがあります。言葉にウエイトを置く人ほど言葉に引っ掛かってしまい、実体とは離れてしまうことが良くあります。身体、精神、知的領域のハンディーを持っているメンバーが混在していると、ますます混乱が助長される時もあります。

「コミュニケーション能力が低い」とOさんからバカにされ、地団駄を踏んでいるPさんですが、しばらく経って「コミュニケーション能力って何え？」と尋ねたりします。言葉の意味をお互いに解ったように話しますが、その前提自体が成り立たないこともあります。噛み砕いて話したつもりでも全く理解できず、注意したことの意味ではなく、その口調自体に反応し、パニックになったりすることもあります。また言葉では理解できていても、腹立たしく思っているこちらの気持ちを見抜かれて、そこに反応する場合もあります。

「何で解ってくれへんのやろう？私の言っていることと、Mさんの言っていることは同じなのに・・・？Mさんが言えば納得できるん・・・？」スタッフKが嘆いています。Kの言い方のトーンは音で表すと、キンキ

ンキンキンという感じですが、Mのトーンはトントントントンという調子です。私の見立てでは、言葉の意味や中身はいつでもよくて、言い方のトーンが問題では？と推測します。

「Aさんが一般就労できたのならオレだってやれるから、明日ハローワークに行ってくる！」というBさんに「行くのはかまわんけど、ほんまにAさんが週4日夜4時間、仕事ができると思う・・・？」と返します。

「本人が言ってるから・・・、ウソ・・・？」
「ここに来るだけでやっとなのに、ほんまかな・・・？あんな顔色では無理と思うよ・・・」
「ウソついたらあかん！格好つけてるだけやん、腹立つ！」

「・・・そうなりたいなあ・・・と思ってるんと違う？」

「・・・そりゃオレだってそう思ってるけど・・・パッパとやれんもん・・・しゃあないわ・・・続かんかったらしゃあないし・・・」
「さすがBさん、最近言うことが違うな！ウサギが偉くてカメがあかんのと違うし・・・、カメが似合てる人もいるよ・・・」

ウサギがもてはやされる昨今、カメの居場所を思います。(ここでの会話は日々日常をイメージしたものです)

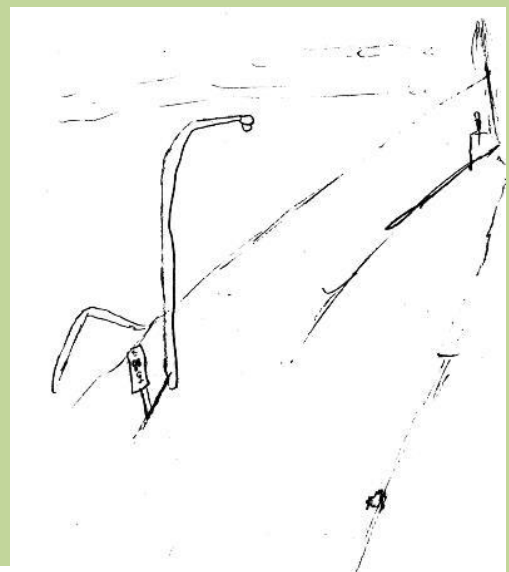


イラスト 岡田君

お知らせ

新年会報告

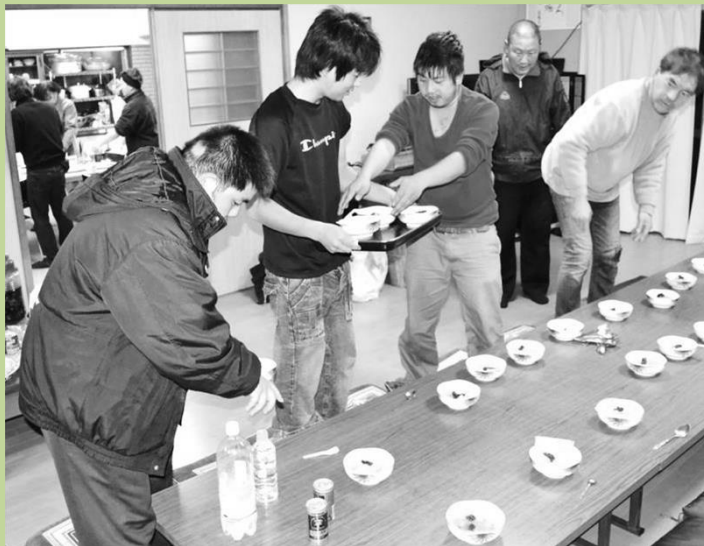
心ある方々からの白菜、リンゴ、文旦、鹿肉、もち米やうどんを活用し、白みそ仕立ての鹿肉入りツミレ鍋とフルーツポンチ、きな粉のおはぎを作りました。Fさんは今まで何度もきな粉のおはぎ作りに挑戦、前回の失敗（きな粉に塩を入れた）をバネに、一人でおはぎ 35 個を作りました。TさんとKさんは文旦 15 個の皮むきに四苦八苦「なんぼやっても減らん！」とぼやくことぼやくこと・・・玄関、大広間の拭き掃除や掃き掃除はKさんとOさんです。「ワシはこんだけやっとするのに、Oさんはこんな少ししかやっくらん！」

食器洗いから机のセット、座布団敷き、食材の用意まで、ほとんどメンバーたちにやってもらいます。私はメニューを決めて材料を買い、味付けを担当します。ポイントはメンバーたちがフル参加できるような、仕事の割り振りです。

「ツミレって何え？」の問いに、買ってきた材料を見せます。鶏ミンチ、山芋、タマネギ、ネギ、シイタケ、ヒジキ、卵、片栗粉、しょうが、ニンニクを、切ったり擦りおろしたりしてもらいながら、1つ1つ入れてかき混ぜてもらいます。「手が痛い

わ！」と文句を言いつつ完成すると「これどうするん？」と興味深々です。「スプーンですくって、鍋に入れるんや！次は白味噌のスープを作るから大きなボール（10リッター入る）を3つ洗って！」

午後7時半には作業からみんなが戻ってきて新年会スタートです。最初は何を言っても聞く耳が無いので、まずは腹ごしらい。アツと言う間に鍋が空になり、第二弾第三弾、うどんやラーメンを入れてようやく満足そうな表情です。ようやく新メンバーのTさんと新人スタッフKからの一言です。



「めっちゃウマイ!」「もう食えんわ!」とまだまだ騒がしい中、リンゴや文旦、フルーツ缶詰などにサイダーを入れたフルーツポンチが第二ステージです。上勝Sさんの手作りアップルパイとオッツ(東京)の瀧倉さん(シヨコラティエ)から頂いたチョコレートケーキも加わり、至福の面々でした。「アップルパイもチョコレートケーキもその辺では売ってへん、すごく貴重なもんや!買ったなら高いんやで!しっかり味わって食べてや!」と声をからし、唾を飛ばすことしきり。有難うございました。

新スタッフ加入

1月5日より、杉浦(健)君が専任スタッフとして、当会の活動に関わってくれるようになりました。

衣料品の仕分け、値段付けとディスプレイを中心に担当し、低迷している衣料品部門のテコ入れに奮闘してくれています。

前任の女性スタッフよりもセンスは上? との声もあり、お客様からの反応も上々です。

2年ぶりの20代若手スタッフの登場に、メンバーの間にも新しい風が吹き抜けていくようです。今後の活躍に期待しています。



香川の大学生が見学

2月20日午後1時半から4時半まで、四国学院大学(香川県)の富島教授と8名の大学生の皆様が見学に来られました。

5年前から毎年違う学生さんが来て下さっており、遠路遥々有難いことです。

ドキュメンタリー映画「そっちやない、こっちやコミュニティケアへの道」(監督・柳澤寿男 1982年)で描かれた営みと、その2年後に始めて現在に至る太陽と緑の会の活動と、共通するものは何か。

杉浦(当会代表)からの投げかけに、初めは沈黙していた学生さんが、富島先生の緩急つけたアプローチの中で、ポツリポツリと自分の考えを語り始める。

そのダイナミズムは、太陽と緑の会の日々日常ともどこか通じるものがある、と感じました。

定休日

水曜日、第2第4火曜日、及び祝日を定休日とさせて頂いております。

2月28日(火) 3月1日(水) 8日(水)

3月14日(火) 15日(水) 20日(月・祝日)

3月21日(火)(4月29日(祝日)開所の代替としてお休みさせていただきます)

3月22日(水) 28日(火) 29日(水)

4月5日(水) 11日(火) 12日(水)

4月19日(水) 25日(火) 26日(水)

なお定休日の品物のお持ち込みは、防犯上の理由によりご遠慮下さい。よろしくお願い致します。

太陽と緑の会からの助成(46回)

徳島市資源ごみ回収事業に係る奨励金(古紙1キロに対し5円、鉄屑、空き缶1キロに対し6円、ウエス1キロに対し10円、廃食油1キロに対して20円)平成27年度後期分(平成28年度前期配分)25万8200円が当会の太陽と緑の会福祉事業団に支給されました。これに前回からの繰越額2万2820円を合わせた総額28万1020円を各分野で非営利活動に取り組んでおられる以下の団体の皆様に配分させて頂くことに致しました。(敬称略)

◎障害者福祉活動への助成

社会福祉法人くまもと障害者労働センター(熊本大地震支援として)5万円

◎国際協力活動への助成

NPO法人TICO(徳島で国際協力を考える会)(ザンビア等における医療・農村開発活動)1万5000円

◎その他の活動への助成

NPO法人日本NPOセンター(NPOの社会的基盤の強化を図る活動)1万円

◎社会福祉活動への助成

NPO法人抱樸(北九州ホームレス支援機構)(ホームレス状態にある方々や生活困窮者のための自立支援)3万円

とくしま福祉機器展実行委員会(分身ロボットOriHimeの実演展示及び講演など)(ハートフルゆめ基金とくしま)5000円

大阪釜ヶ崎出会いの家(野宿を余儀なくされた高齢日雇労働者の支援活動)(海苔、ワカメ等、物品支援の送料として)1844円

◎災害支援

社会福祉法人ありのまま舎(宮城県仙台市)(東日本大震災により被災された宮城県沿岸部の在宅重度難病者支援活動に対して)16万8398円

支援金振込手数料778円

太陽と緑の会福祉事業団の助成活動は平成5年度よりスタートしました。各分野で非営利活動に取り組んでおられる個人・団体の皆様を対象に年2回、23年間で累計1430万8376円の助成を行ってきました。



左は障害者地域共同作業所 太陽と緑の会月の宮作業所。周囲を覆う桧の種苗林が伐採され風景も一変しました。

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2016年12月1日～2017年1月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

生島、奈良、高瀬、匿名、村上、おじゃれ、久繁、久次米、生島、匿名、平田
(郵便振替口座) 鈴江、足立、匿名、北岡、大西、丸田、伊地知、秋山、益田、榎本、
坂東、大谷、豊井、浜田、瀧倉、匿名、原、桧垣、匿名、永口、巻島、太田(兵庫)、太
田(徳島)、阪野、豊崎、松尾、久米、平池

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○吉岡、岡川、田村、吉田、笹川、藤田、戎、水谷、長原、パソQ、須戸、奈良おじゃれサロン
チエミ、高瀬、村上、生島、藍原、工藤、久米野、篠原、小倉、筒井、田中、米津、鴻野、山田、泰地、
野田、若林、宇治、宇田、漆川、池田、四宮、若江、藤代、Dコム、西村、一柳、大櫛、前岡、徳永、林、
西川、相原、ミネ呉服店、塚本、吉川、森、隅田、河野、国府学童保育クラブ、井上、杉本、森田、吉田、
竹内、加野、後藤田、稲垣、近藤、村山、応神小学校、三木、大開、上村、宮本、加藤、大浦、巖原、出
原、明石、松浦、釣田、渡辺、山本、堀内、金西、東谷、橋本、佐々木、香留、松島、東、横山、辻、榊、
中島、浜口、住友、ヘルナエス ジョナス ビビアン、斎藤、中野、殿井、久繁、大櫛、大西、久穴、黒
谷、川野、藤井、加藤、澤田、藤田、安宅、新見、竹中、福本、坂本、田村、増田、真鍋、波越、尾上、
頭師、ビューティーオアシス、広瀬、松谷、上山、澤、岡本、椎野、宮本、渡辺、佐野、東京屋、岩川、
大松、湯浅、西木、榎本、新開、坂東、鎌田、平川、福井、遠藤、ケントホームズ、高田、宮越、近藤、
久次米、佐藤、赤坂、松本、佐川、大閣、近藤、井川、下山、土井、株式会社 文殊、阿部、澤田、先田、
森田、竹内、坂口、正城、古川、中野、新開、長浜、福田、NPリンク新開、井藤、久米川、西谷、杉村、
寶城、キタノ、三成会キュアセンター、横田、橋本、豊野、松本、大寺、下村、多田、生島、阿部、月岡、
山本、小室、有田、野々瀬、竹原、富永、益田、原田、小西、チケット徳島、片岡、川島、福島、谷川、
武井、三宅、八巻、魚谷、安芸、佐藤、仲村、健祥会ひまわり、岸、フードバンク徳島、斉藤、久保、庄
野、細井、宮田、渡辺、井関、柏木、曾我部、川崎、食楽園、本多、安永○鳴門市○村津、水野、中谷、
久龍、篠原、林、寺田、岩田、岸本、三木田、河口○藍住町○上山、近藤、里見、新開、廣田、佐川、仁
木、藤原、真田、中野○松茂町○梅本○北島町○篠田、中野、坂東、中村、妹尾、坂野、小林○佐那河内
村○島○石井町○友成、阿部、芥川、三木、中西、酒井、元木、村本、亀井、野木、古高○吉野川市○谷、
工藤、岡田、太田、高開、坂井、三木、クドウ時計店○板野町○加山、明松、木村、松本○小松島市○曾
硯、長尾、木川、島、丸山、諏訪、上田、苅部○阿南市○上原、住友○上板町○平井○阿波市○松村

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○富永、河村、幸田、竹原、津地、小川、石原、西森、濱野、シオタ、高橋、松本、一宮、竹内、
金本、津田、大畠、長谷川、村田、藤本、島田、藤井、井上、松井、大木、井形、魚住、島野、新居、岡
山、村主、山西、溝杭、西川、脇谷、福井、岡田、渡部、黒田、林、斉藤、三木、瀧、大黒、人生たすけ
あい家、湯浅、畑、久保、松下、友竹、鄭、片岡、板倉、山岡、曲木、乾、森、野ノ瀬、四国大学学生ボ
ランティア活動支援室、まゆやま学苑、以西、竹中、森本、際田、大村、新居、キモト、桑原、丸山、近
藤、田部、松浦、植松、西野、黒川、イケグチ、岡山、上田、石橋、石井、加藤、佐藤、和泉、宮本、松
本、藤本、濱、栗林、杉浦、笹山、湊、東條、木下、谷口、犬伏、山花、藤岡、坂井、久次米、平橋、吉
内、西田、古川、大草、吉田、朴、須原、川内、佐野、三好、河野、平山、松島、石塚、細川、北山、藤
川、森本、黒嶋、長尾、以西、中山、市原、宮西、山崎、楠本、大木、遊佐、金重、三ツ井、山田、采元、
松本、中内、ナガオカ、清水、安藝、伊藤、高松、三木、岩崎、片山、大西、山本、梶田、梅原、藤本、
神戸、坂東、岩佐、湯谷、大島、大野、岡本、松田、四宮、清水、豊崎、中口、中平、滝口、中村、榊、
福山、関口、河野、阿部、藤田、住吉、篠田、山西、森井、榎本、古川、清谷、斉藤、鴻野、岡内、福永、
宮井、川端、福富、丸山、曲木、菅生、阿部、水本、小山、堀江、片寄、長野、横田、吉田、ヤマト、大
川、尾方、後藤、木元、庄野、イケグチ、ミヤザキ、吉永、新免、佐々木、竹内、金本、出口、勝山、中
原、山西、辻、小林、長岡、鈴木、伊達、重田、小倉、中川、木山、東海、魚谷、元木、熊本、タケウチ、
明野、田中、岡島、日下、勝間、川崎、宮井、中園、西谷、福富、矢野、久保、前原、伊勢谷、相原、杉
本、工藤、田村、門田、太田、坂上、財田、ハートインライフ住吉、杉原、伊澤、山本、大久保、フクイ、
大和、棚次、栗飯原、山下、阿部、岩見、福田、岩佐、石原、高田、西浦、岩田、西條、武市、後藤、原
田、町田、大石、中尾、村瀬、富永、阿瀬川、津嘉山、大上、地中、山内、豊明、川尻、大橋、小島、矢

間、福島、今獅々、野口、竹原○板野町○加茂、佐々木、五條、蔭山、岩下、金本、寿見、本田、松本、田代、瀧下、沖津、望月、浦島○石井町○藤本、佐々木、加藤、門條、山西、酒井、坂本、オカモト、フジモト、鎌田、木内、尾崎、中原、前田、西村○北島町○村田、出原、今市、濱口、大島○上板町○天野、河野、笠井、金岡、中谷、渡辺、東條○阿波市○正木、熊野、原口、地面、阿部○海陽町○神沢○神山町○古屋、糸井、定岡、伊藤、久保、川津、畑山、尾木原○吉野川市○坂井、松本、喜島、三笠、太田、赤尾、工藤、流、竹内、渡部、迎、中西、十川、森川、近藤○藍住町○山内、子安、斎藤、井出、前川、堀内、中島、森本、打樋、岡田、芥川、犬伏、佐野、山野、本浄、山、川端、齋藤○鳴門市○東、渡辺、岡本、板東、正木、福山、林、青木、富永、武知、石川、堀内、野口○三好市○堤、鍋島○松茂町○加藤○小松島市○芝原、鍋島、村賀、澤井、仲氏、江川、南、石山、岩本、徳政○佐那河内村○富松○美馬市○大北○阿南市○原、川田、阿部、石原、中西○海部郡○乃一○つるぎ町○上田
○愛知県○松浦、杉浦○京都府○木村○長野県○吉川○大坂府○吉岡○東京都○林、木戸、三木、瀧倉、蒲田○香川県○松村、吉村、井上、多田○愛媛県○濱田○埼玉県○本田○高知県○板東○群馬県○山本○福岡県○永峰○広島県○久次米○兵庫県○合田、高岡

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられ、実際は上記の3倍以上の皆様からご協力を頂いております。

またカレー、ポテトサラダをメンバーたちの昼食に、と持って来て下さった河野様、お野菜を差し入れて下さった吉田様、鹿肉を差し入れて下さった柴田様、その他の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。

頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。



編集後記～「回収ウラ話」

電話番を担当するメンバーのNさんが、電話の子機の保留ボタンを押したまま、困り果てた顔でウロウロしている。

スタッフのYが「どうしたんNさん」と声をかける。

「回収先の人で、来るんが何時くらいになるか、教えてほしいって、言うてるんやけど」

宅配便の時間帯指定が普及したこともあってか、トラックでの品物のお引き取りについても、「何時くらいになりますか」というリクエストを頂くことが、年々増えているように思います。

今の時期ですと、1日に9件から14件くらい、品物を提供して下さる方のお宅にお伺いします。ただ、1件の回収でかかる時間にはかなりの幅があるため、どのくらい時間がかかるかはお伺いしてみないと分からない、というのが宅配便との大きな違いでしょうか。

例えば、予め段ボール箱やごみ袋に詰めて用意して下さり運ぶだけでよい、ということもあれば、生活されていた状態そのまま、持参した段ボール箱に食器棚の食器を梱包したり、持参したごみ袋に洋服タンスから衣料品を詰めていくところから始める場合もあります。

エレベーターがない6階建ての公営住宅のお宅から段ボール40箱分の本を運んだり、階段が狭いためベランダからロープで吊って家具類を下ろしたり、玄関から出せない大きな婚礼ダンスを工具で分解して運んだり、道が狭くてトラックがご自宅の前まで入らず50メートルくらい歩いて運んだり、様々なハンディを持ったメンバーとの回収活動にはいろいろあります。

4階から階段で3人掛けのソファを下ろし、いざ積む段になって「ところでなんぼえ？(いくら位になりますか)」と、買取だと勘違いされていたことが判明し、4階まで運び直したときは、さすがにメンバーさんは半泣き状態でした。

わざわざお電話を下さって品物を提供して下さる回収先の皆様。1件1件大切にお伺いしたいと考えています。それ故、なかなか時間通りにはいかないことも多く、申し訳なく思っております。

スタッフYの声掛けで、テンパっていたメンバーのNさんも少し自分を取り戻したようです。子機を片手に電話の横のマニュアルを見ながら

「回収班は回収に出ているここにはいません。回収については回収班しか分かりません。申し訳ありません」

カメの歩みでいろいろご迷惑もおかけするかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。(文責:小山)

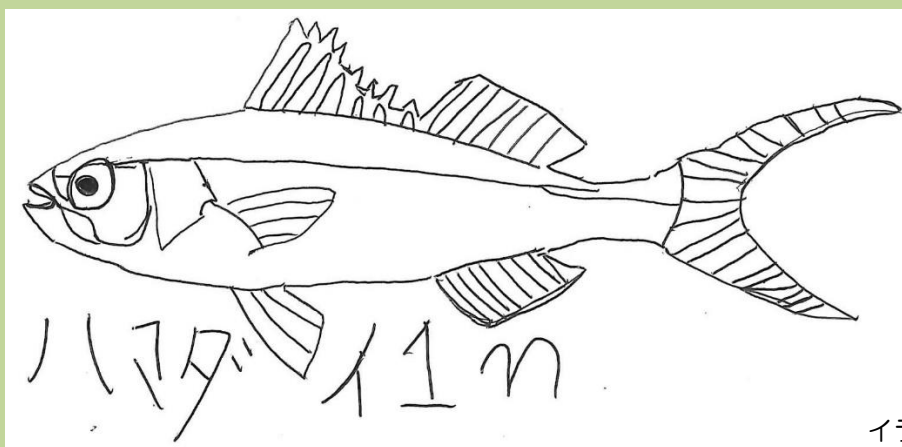


イラスト 久米君

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く、豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-642-1054
(地域活動支援センター太陽と緑の会リサイクル作業所)
代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎
協力者名簿作成 岡田
ゆうメール押印・タックシール添付 堀
製本・発送作業 岡田 福住 大木

年会費：正会員 1万円(総会議決権・事業決算報告)

準会員 1,000円(機関誌発送)

郵便振替口座：01620-8-44703